

令和2年4月28日
四国電力株式会社

2019年度 連結決算の概要

1. 経営成績

(1) 電力販売

小売販売電力量は、契約電力の減少及び前年度の夏季が高気温であった反動減などにより、前年度に比べ3.9%減の223億96百万kWhとなりました。

また、卸販売電力量は、前年度に比べ59.7%増の74億24百万kWhとなりました。

この結果、総販売電力量は、前年度に比べ6.7%増の298億20百万kWhとなりました。

(単位：百万kWh、%)

		2018年度 (A)	2019年度 (B)	比較	
				前年差 (B-A)	伸び率
小売販売	電 灯	8,539	8,169	△ 370	△ 4.3
	電 力	14,757	14,226	△ 531	△ 3.6
	計	23,296	22,396	△ 900	△ 3.9
卸 販 売		4,648	7,424	2,776	59.7
総販売電力量		27,944	29,820	1,876	6.7

(注) 決算日において未確定であるインバランス電力量は含めていない。

(2) 電力供給

原子力発電電力量は、伊方発電所3号機の稼働日数が増加したことから、前年度に比べ76.5%増の58億94百万kWhとなりました。また、水力発電受電電力量は、前年度に比べ2.7%増の34億81百万kWhとなり、新エネ発電受電電力量は、6.6%増の38億96百万kWhとなりました。

この結果、火力発電受電電力量は、前年度に比べ5.2%減の190億31百万kWhとなりました。

(単位：百万kWh、%)

		2018年度 (A)	2019年度 (B)	比較	
				前年差 (B-A)	伸び率
出水率	98.2%	105.1%	6.9%		
水 力	3,390	3,481	91	2.7	
伊方3号利用率	42.8%	75.4%	32.6%		
原 子 力	3,339	5,894	2,555	76.5	
新 エ ネ	3,654	3,896	242	6.6	
火 力	20,070	19,031	△1,039	△ 5.2	
(石 炭)	(14,763)	(13,623)	(△1,140)	(△ 7.7)	
(ガ ス)	(3,453)	(3,818)	(365)	(10.6)	
(石油ほか)	(1,853)	(1,590)	(△ 263)	(△ 14.2)	

(注1) 決算日において未確定であるインバランス電力量は含めていない。

(注2) ガスはLNGとCOGの合計である。

(3) 収 支

売上高は、卸販売収入や再エネ交付金などが増加したものの、競争の進展や燃料費調整額の減などから小売販売収入が大幅に減少したため、前年度に比べ 41 億円(△0.6%)減収の 7,331 億円となりました。

営業費用は、伊方発電所 3 号機の稼働増等に伴い需給関連費が減少したほか、経営全般にわたる費用削減に努めた結果、前年度に比べ 97 億円(△1.4%)減少の 7,018 億円となりました。

この結果、営業利益は、55 億円増益の 312 億円、経常利益は、28 億円増益の 279 億円、また、親会社株主に帰属する当期純利益は、11 億円増益の 180 億円となりました。

(単位：億円、%)

		2018年度 (A)	2019年度 (B)	比 較			
				前年差(B-A)	伸び率		
営業 収益	電気 事業	小売販売収入	4,756	4,470	△286	△ 6.0	
		卸販売収入	488	606	118	24.2	
		再エネ交付金ほか	1,150	1,237	87	7.6	
		小 計	6,396	6,314	△ 82	△ 1.3	
	その他事業	976	1,017	41	4.1		
	合 計	[6,540] 7,372	[6,463] 7,331	[△ 77] △ 41	[△ 1.2] △ 0.6		
営業 費用	電気 事業	人件費	519	502	△ 17	△ 3.2	
		需給 関連 費	燃料費	797	674	△123	△15.4
			購入電力料	1,989	1,985	△ 4	△ 0.2
			小 計	2,787	2,660	△127	△ 4.5
	減価償却費	546	495	△ 51	△ 9.4		
	修繕費	580	624	44	7.6		
	原子力バックエンド費用	126	157	31	24.5		
	その他費用	1,676	1,672	△ 4	△ 0.2		
	小 計	6,236	6,113	△123	△ 2.0		
	その他事業	879	905	26	3.1		
	合 計	[6,396] 7,115	[6,266] 7,018	[△130] △ 97	[△ 2.0] △ 1.4		
営業利益		[144] 257	[197] 312	[53] 55	[36.8] 21.6		
支払利息ほか		6	33	27	455.3		
経常利益		[157] 251	[194] 279	[37] 28	[23.9] 11.2		
特別損失		—	17	17	—		
法人税ほか		81	80	△ 1	△ 0.6		
親会社株主に帰属する当期純利益		[114] 169	[145] 180	[31] 11	[27.3] 6.5		

(注1)連結決算の対象会社

- ・連結子会社(12社)：STNet、ケーブルメディア四国、ケーブルテレビ徳島、四電エンジニアリング、四電技術コンサルタント、四電エナジーサービス、坂出LNG、SEP International Netherlands B.V.、四国計測工業、四電ビジネス、四国総合研究所、四国電力送配電
- ・持分法適用会社(6社)：四電工ほか5社

(注2) [] 内は、四国電力単独決算値。

2. 利益配分

(1) 基本方針

安定的な配当の実施を株主還元の基本とし、業績水準や財務状況、中長期的な事業環境などを総合的に勘案して判断してまいります。

(2) 配 当

2019年度の間配当は、1株当たり15円としました。
期末配当についても、1株当たり15円を予定しています。

3. 次期の見通し

(1) 業 績

伊方発電所3号機の運転再開時期を見通すことが難しいことなどから、未定としております。
今後、業績予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

(2) 配 当

中間、期末ともに未定としております。
今後、業績予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

以 上